

# 令和7年度 長崎県立長崎南高等学校 学校経営方針

## 校 訓 『 気魄と情熱 』

- 一 理想は高く 気魄と情熱に燃えよ
- 一 自主自律 一意学道に精進せよ
- 一 健康で明朗 品位ある学徒たれ
- 一 親和と友愛に充ち 礼節を重んぜよ

## 校 是 『 学習と部活動の両立 』

## スローガン 『 文 武 不 岐 』

～ 思いやりと正しい心・学びと探究・多様な力の共育 ～

## 1 学校教育目標

- (1) 自らの可能性を信じ、主体的に学び、実践する態度を身につける
- (2) 多様化する社会のなかで柔軟に対応できる課題解決力を身につける
- (3) たくましい心身を培い、品性ある言動を身につける
- (4) コミュニケーション力と協力・協働できる力を身につける
- (5) 自らの生命や人権を尊重するとともに、利他の心を身につける

## 2 学校経営方針

### (1) 社会に貢献できる力の涵養

- ①3年間を見通した計画的・継続的な取組により、生徒個々の能力の向上を図る。
- ②生徒の主体的な学びを推進し、確かな知識と豊かな実践力を涵養する。

### (2) 課題解決能力の涵養

- ①学び、部活動、特別活動等で生徒が「自ら考え方行動」することで、自己管理能力を高める。
- ②SSHを中心に、生徒が自ら「探究心」をもって取り組み課題対応能力を高める。

### (3) たくましい心身、品性ある言動の涵養

- ①生徒に寄り添い、指導・支援することにより、困難を乗り越える力の醸成を図る。
- ②高校生としての規範意識を高め、爽やかな挨拶や言動のできる態度の醸成を図る。

### (4) 対人関係構築力の涵養

- ①校内外の多様な人々との交流や協働等により、生徒のコミュニケーション力の充実を図る。
- ②平和学習など「生徒を主体」とした学校行事等により、リーダーシップ等の醸成を図る。

### (5) 生命や人権意識の向上

- ①生命や人権尊重の意識高揚を図り、いじめのない品性ある言動に基づく学校文化を創造する。
- ②「生徒を主体」とした活動を通して、生命の大切さや思いやりの心を育成する。

### (6) 教育環境の整備と適正な会計処理の推進

- ①定期的な安全点検により施設設備の改善・充実を図り、安全・安心な教育環境を提供する。
- ②計画的な事務処理をすすめるとともに、適正に予算を管理し執行する。

### 3 本年度の重点取組

#### (1) 学習指導の充実

- ①生徒の基礎・基本の徹底を図るとともに、ＩＣＴ等を活用した多角的な授業実践を教科会等で話し合い組織的に実践する。
- ②観点別評価を活用し、生徒の学習実態の把握を行い、「ふりかえり」を行いながら、学びの向上を行う。

#### (2) 生徒指導・支援の充実

- ①全生徒が明朗な挨拶と適切な言動ができるよう積極的な声かけを行い、「主体的に考え、判断し、行動できる」よう指導・支援を行う。
- ②ルール・マナー・規範意識の高揚を図り、道徳心を培う。
- ③生徒理解に努め、情報を共有し、適切かつ迅速に保護者等との連携に基づく対応を行う。
- ④必要に応じて外部関係機関等との連携により、生徒個々の実態に応じた支援に努める。

#### (3) キャリア教育の充実

- ①生徒のキャリアプラン実現のため、生徒の主体的な学びや実践を促す指導・支援を推進する。
- ②1年次から進路意識の高揚を図り、生徒の多様な活動実績を進路に活かす取組を推進する。

#### (4) 部活動等の充実

- ①生徒の主体的な活動を支援し、特色ある能力を伸長させ自己肯定感を高めさせるとともに、学習との両立に挑ませる。
- ②心身を鍛錬するとともに、挨拶や礼儀等を身につけ、人間性を高める。
- ③学校行事等の充実を図り、学校全体の活性化を図る。

#### (5) 生命の教育の充実

- ①教育活動全体をとおして生徒間の話し合いや協働作業を推進し、他者への理解を深め、生命を尊重する資質を育てる。
- ②課題を抱える生徒に対しては、「受容」「傾聴」「共感」に努め、円滑なコミュニケーションを図り、保護者等との情報共有を積極的に図る。
- ③必要に応じて外部関係機関等との連携により、生徒個々の実態に応じた支援に努める。

#### (6) スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の充実

- ①「科学的な知識・技能を自ら習得する能力の育成」により課題研究の深化・充実を図る。
- ②SSH課題研究の到達度の確認・記録を行い、更に発展した学びを創造する。

#### (7) 読書活動の充実

- ①生徒の読解力の向上を図るとともに、論理的な思考力や集中力を身につけさせるため読書活動を積極的に進める。

#### (8) 教職員がやりがいを実感できる働き方改革の推進

- ①挨拶などのコミュニケーションを活発化し、課題を共有し、相談できる教職員間の信頼関係を構築する。
- ②「お互い様」「おかげ様」の精神による年休等の積極的な取得と業務協力の体制を強化する。
- ③ワークライフバランスを意識した、超過勤務抑制に向けた検討と実践を行う。

#### (9) 南高の魅力の発信

- ①Webページやソーシャルネットワーク、チラシ等を活用した広報を実践する。
- ②生徒を主体としたオープンスクール及び中学校との交流など体験型行事を展開する。